

浅川中学校 生徒の皆さんへ

先日の全校朝礼でも伝えた SNS トラブルについて危機感を募らせています。改めて皆さんに、意識してほしいことを伝えたいと思います。

最近、暴力行為の様子を撮影した動画が、SNS で拡散するという報道がありました。画面越しの出来事に見えるかもしれませんが、そこには、実際に傷つき、怖い思いをした人がいます。これは、決して他人事ではありません。

まず、はっきりしていることは、人をたたく、蹴る、押す、物を投げる。こうした行為は、どんな理由があっても許されません。「ふざけていた」、「ノリだった」、「相手にも原因があった」、そうした言葉で、暴力が正当化されることはありません。中学生のみなさんは、もう分かっているはずです。暴力行為は、場合によっては暴行罪や傷害罪といった犯罪にあたります。「未成年だから」「学校の中だから」そう考える人がいるかもしれませんが、実際には、警察が関わるケースもあります。一度起きたことは、なかったことにはできません。そして、忘れてはいけないのは、暴力をふるった人だけが問題になるわけではないということです。

その場で見ていた人、笑っていた人、動画を撮った人、SNS に上げた人、広めた人。そうした行動も、被害を大きくすることがあります。動画は、一度広がると、完全には消せません。被害にあった人は、何度も何度も、その場面を思い出させられます。

暴力は、一瞬で人の人生を変えます。また SNS での拡散も一瞬にして人の人生を変えてしまいます。自分の進路、家族、友だちとの関係、周りからの信頼を失うこともあります。「そのときの感情」で取った行動が、その後の人生に長く影響することを、よく考えてください。

誰でも、怒りや不安、悔しさを感じることはあります。それ自体は、悪いことではありません。しかし、その気持ちを暴力でぶつけてしまえば、問題は解決するどころか、さらに大きくなります。大切なのは、どう行動するかです。

困ったとき、苦しいときは、先生、スクールカウンセラー、養護教諭、信頼できる大人に相談してください。助けを求めることは、弱さではありません。自分と周りを守る、責任ある行動です。

「もっと優しく、もっと強く」を目指すこの中学校は、誰もが安心して学び、成長できる場所であればなりません。先生達は、暴力やいじめを見過ごしません。同時に、みなさん一人一人の未来を守りたいと思っています。是非、自分の行動が、誰を傷つけ、誰を守るのかを考えてください。

どうか皆さん自身の中にある「優しさ」を忘れることなく、『自分も、他の人も大切にできる人』に成長してくれることを願っています。

令和8年2月17日

浅川中学校 校長 市場 陽一郎